

第5章

ふれあい、学びあい、感動できるまち

第1節 自他を生かす力を持つ子どもたちを育む

子どもたちが個性豊かに育つよろこび、生きるよろこびを実感できる生活を実現するため、子育て支援の充実を図るとともに、家庭と地域社会に開かれた小中学校と幼稚園づくりの中で、それぞれの教育力の向上を図り、社会の未来を担う子どもたちの自他を生かす力を育み、子どもたちの健やかな成長を支えるまちをめざします。

1. 乳幼児の健やかな成長を支える 重点施策

今、求められていること

- 少子化や核家族化の進行、地域における連帯感の希薄化、共働き家庭の増加などにより、保育ニーズが増加し続けている中で、安心して子どもを産み、健やかに育てることのできる環境づくりが求められています。
- 価値観が多様化する社会において、個性を尊重しつつ、自他を生かすという視点に立った主体性と相互性を養う乳幼児教育を進めることが求められています。

取り組みの方向

- 安心して出産や育児ができるよう、妊産婦の健康管理や乳幼児の健やかな心身の成長を支援します。
- 乳幼児の健全な心身の成長を支援するため、保育環境の充実を図ります。
- 個性を尊重し、豊かな感性や主体性を養う特色ある乳幼児教育の向上を図ります。
- これからの保育行政や幼児教育のあり方について、基本指針を作成し、乳幼児の健やかな成長を支援する施策を推進します。

<主要な取り組み>

- 妊産婦健康診査の充実
- 乳幼児健康診査の充実
- 保育サービスの充実
- 保育行政や幼児教育に関する基本方針の策定